

防災・危機管理コーナー ～冬季間に意識したいこと～

■ 冬の気象警報について

「大雪警報」は、12時間降雪の深さが平地で40cm、山間部で50cmに達するときに、「暴風雪警報」は18m/s以上の風と雪による視程障害を伴う場合に発表されます。

いずれも、発表されたときには風も弱く、さほど雪も降っていない場合がありますが、数時間後には、大雪や暴風雪になる可能性があります。

警報が発表されたときは、外出を控え、外出しているときは天候が悪化する前に帰宅しましょう。

やむを得ず外出する場合は、努めて単独行動は避け、家族などに連絡をしておき、携帯電話など連絡手段を確保しましょう。車には、毛布や防寒着・長靴・手袋・スコップ及び水や食料を日頃から用意するなど、備えを万全にしておきましょう。

■ 冬の地震に備えて（室蘭地方気象台からのお知らせ）

冬に地震が起きると、夏より被害が大きくなるといわれています。冬は、暖房などの火の使用によって火災が発生しやすいことや、積雪の影響で屋根からの落雪や家屋の倒壊などの危険性が高くなります。加えて路面の状況や吹雪などにより避難路の確保や移動に時間がかかることもあります。また、ライフラインがストップした場合には、自宅や避難所、車の中などにおける寒さ対策も必要となります。

地震はいつ起きるかわかりませんが、一人一人が日頃から心構えをしておくことで被害を少なくすることは可能です。水や食料はもとより、寒さ対策に電気を使用しない暖房器具の準備や、防寒着・防寒シート・毛布・使い捨てカイロの用意など、いざというときのために出来る準備をしておきましょう。

死んだ野鳥を見つけても素手で触らないでください！

【ご注意ください】

- ・野鳥が死んでいたり、衰弱しているのを見つけた場合は、素手で触らないようにしましょう。
- ・鳥の排泄物等に触れた後は、「手洗い」と「うがい」をしましょう。
- ・水辺等に立ち寄って、野鳥の糞を踏んだ場合は、念のために靴底を洗いましょう。

【鳥インフルエンザウイルス】

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。

日常生活では、鳥の排泄物等に触れた後には、「手洗い」と「うがい」をしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いいたします。

問合せ 住民生活課住民生活グループ ☎2940 農林課農政・畜産グループ ☎2515

【苫小牧医師会】日曜・祝日当番病院（市外局番 0144）

月 日	内科		外科		
	病院名（住所）	電話	病院名（住所）	電話	
1月	7日(日)	苫小牧東病院（明野新町5）	(55) 8811	北洋いきいきクリニック（北洋町1）	(71) 2700
	8日(月)	やまざきこども医院（大成町2）	(75) 1133	とよた腎泌尿器科クリニック（元中野町2）	(31) 2000
	14日(日)	苫小牧澄川病院（澄川町7）	(67) 3111	同樹会苫小牧病院（新中野町3）	(36) 1221
	21日(日)	いまい内科クリニック（双葉町1）	(37) 8686	苫小牧日翔病院（矢代町2）	(72) 7000
	28日(日)	桜木ファミリークリニック（桜木町2）	(71) 2351	ハート整形ペインクリニック（三光町2）	(38) 7000
2月	4日(日)	稲岡内科小児科（北光町2）	(72) 5141	にっしん泌尿器科クリニック（日新町2）	(71) 1100
	11日(日)	柴田内科循環器科（桜木町1）	(71) 2225	同樹会苫小牧病院（新中野町3）	(36) 1221
	12日(月)	たかやなぎ小児科（日新町2）	(71) 2115	苫小牧東部脳神経外科（北栄町2）	(53) 5000

安平町ホームページでは、苫小牧歯科医師会の休日当番医も確認することができます。

URL = <http://www.town.abira.lg.jp/kurashi/yakan-kyujitsu>